

2023年8月30日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード: 3762)

クラウド SaaS 型「ツムギノ」、 文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」に採択

学びを 未来へ 紡ぐ



スクール・コミュニケーション・プラットフォーム+校務支援システム「ツムギノ」を提供するテクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：由利 孝）は、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」に採択されましたのでここにお知らせいたします。

■ 文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」について

統合型校務支援システムの整備率は2022年時点で81.0%まで上昇し、校務効率化に大きく寄与してきましたが、その殆どがネットワーク分離（閉鎖系ネットワーク）によるオンプレミス型運用であり、校務用端末は職員室に固定されているため、クラウド時代の教育DXに適合しなくなっています。

2023年3月に行われた「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」では、校務処理の多くが職員室に限定され働き方に選択肢が少ない、紙ベースの業務が主流となっている、学習系データと校務系データとの連携が困難、帳票類の標準化が道半ばなどを現在の校務情報化の課題と挙げています。

（引用：文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務DXについて」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html）

このような課題の解消を目指して文部科学省が進めているのが「次世代の校務デジタル化推進実証事業」です。文部科学省主導の本実証では、校務支援システム各ベンダーにおける次世代の校務支援システムへのモデルチェンジを加速させることにより、各自治体における次期システム更改の際に、次世代の校務支援システムへの移行を円滑に進めることを目的としています。

■ 文部科学省の本実証事業における機能強化項目は以下の通りです。

- a. SaaS としての提供
- b. データベースの暗号化
- c. 多要素認証への対応
- d. 汎用のクラウドツールとの連携
- e. 学校及び児童生徒に関するデータを児童生徒・学級・学校・教育委員会それぞれのレベルで統合して可視化するダッシュボード機能

ツムギノでは上記 a~d の機能はすでに実装済のため、主に e のダッシュボードの機能を開発・実証する予定です。本実証事業を通じて、校務支援システムのクラウド化による校務DXを実現し、教職員の働き方改革（業務効率化）と本来あるべき児童生徒と向き合う時間の創出に向けて、教育事業を推進して参ります。

■ テクマトリックス株式会社について

所在地： 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 24 階

代表取締役： 由利 孝

URL：<https://www.techmatrix.co.jp>

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」、患者と医師、家族と地域社会を結ぶ医療環境づくりを目指す「医療システム事業」、蓄積されたノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」の3事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

■ ツムギノについて

「ツムギノ」は、糸をつくる、言葉をつなげる、という意味を持つ「紡ぐ」と、革新を意味する「Innovation」を掛け合わせて作られました。“学びを 未来へ 紡ぐ” × “Innovation”。「新しい学びを未来に向けてカタチ作りながら、新たなものを創造し、教育業界に革新と新たな価値を生み出したい」との思いを込めています。

ツムギノ詳細はこちらから ⇒ <https://tsumugino.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社 EdTech 事業部
E-mail：tsumugino-sales@techmatrix.co.jp

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。